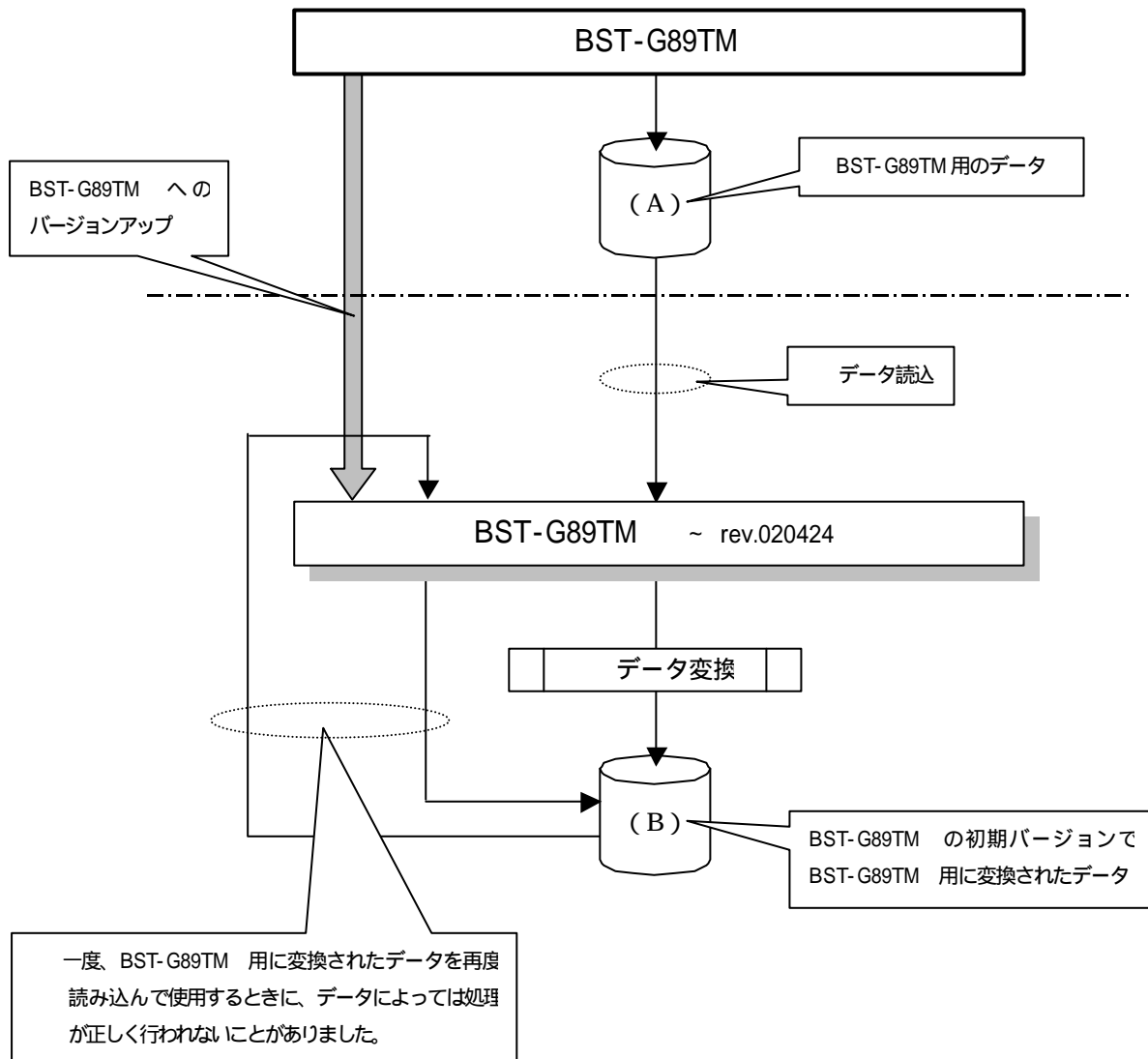


BST-G89TM で BST-G89TM のデータを読み込んだ時の不具合について

ここでは、BST-G89TM のバージョン 7.00 からバージョン 7.01 の rev. 020424 までを「BST-G89TM 初期バージョン」と表現します。

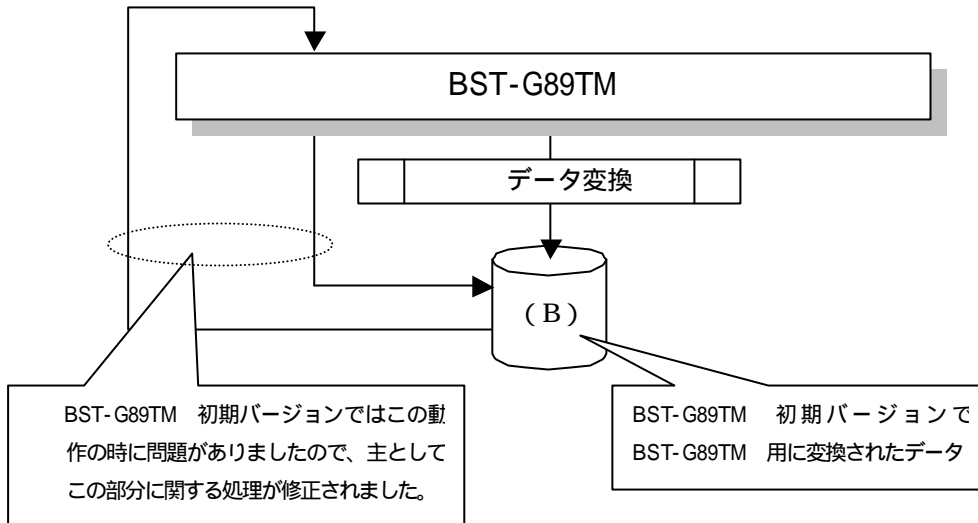
BST-G89TM 初期バージョンでは、BST-G89TM 用データ (A) を読み込み、一度 BST-G89TM 用のデータ (B) に変換されたデータを、BST-G89TM で再度読み込んだとき、データ内容によっては正しく処理が行われず、動作や計算結果が不安定になることがありました (下図 の流れ)。



BST-G89TM 用に変換されたデータ (B) は、保存されるときに BST-G89TM の時と同じように、工事名の頭に「S_」または「T_」がつけられて保存されるため、そのデータが変換前のデータなのか、変換後のデータなのか、見ただけでは判断できませんでした。

そのため、一度変換されていても、まだ変換前の BST-G89TM のデータとして扱われる事もあり、それも今回の誤動作の原因となっていました。

BST-G89TM Ver 7.01 rev.020506 のファイル読み込み処理について



前図の一部抜粋

先にも説明しましたように、BST-G89TM 用への変換処理ルーチン () を通過し、BST-G89TM 用に変換されたデータ (B) が再度読み込まれるとき (の流れ)、その内容によっては一部のデータが間違っ

て処理される事がありました。今回の rev.020506 ではその点を解決すると同時に、既に BST-G89TM 用となっているデータ (B) を正しい内容に修正するための処理機能が追加されました。

追加された処理機能の内容は以下のようになります (次ページのフローチャートを参照してください)。

- 1) BST-G89TM のデータを読み込んだとき (の流れ) は、今まで通りそのまま読み込みます。
(この時確認ダイアログが表示されますが、これは「BST-G89TM のデータ」であることを確認するだけで、特に指定事項があったり、処理内容が変更さったりしているわけではありません)
- 2) BST-G89TM 初期バージョンで変換されたデータ (B) を再度読み込んだときは (の流れ)、
 - 2-1) そのままそのデータを読み込むのか (の流れのまま)、
 - 2-2) それとも BST-G89TM のデータとして読み込むのか (の流れ)

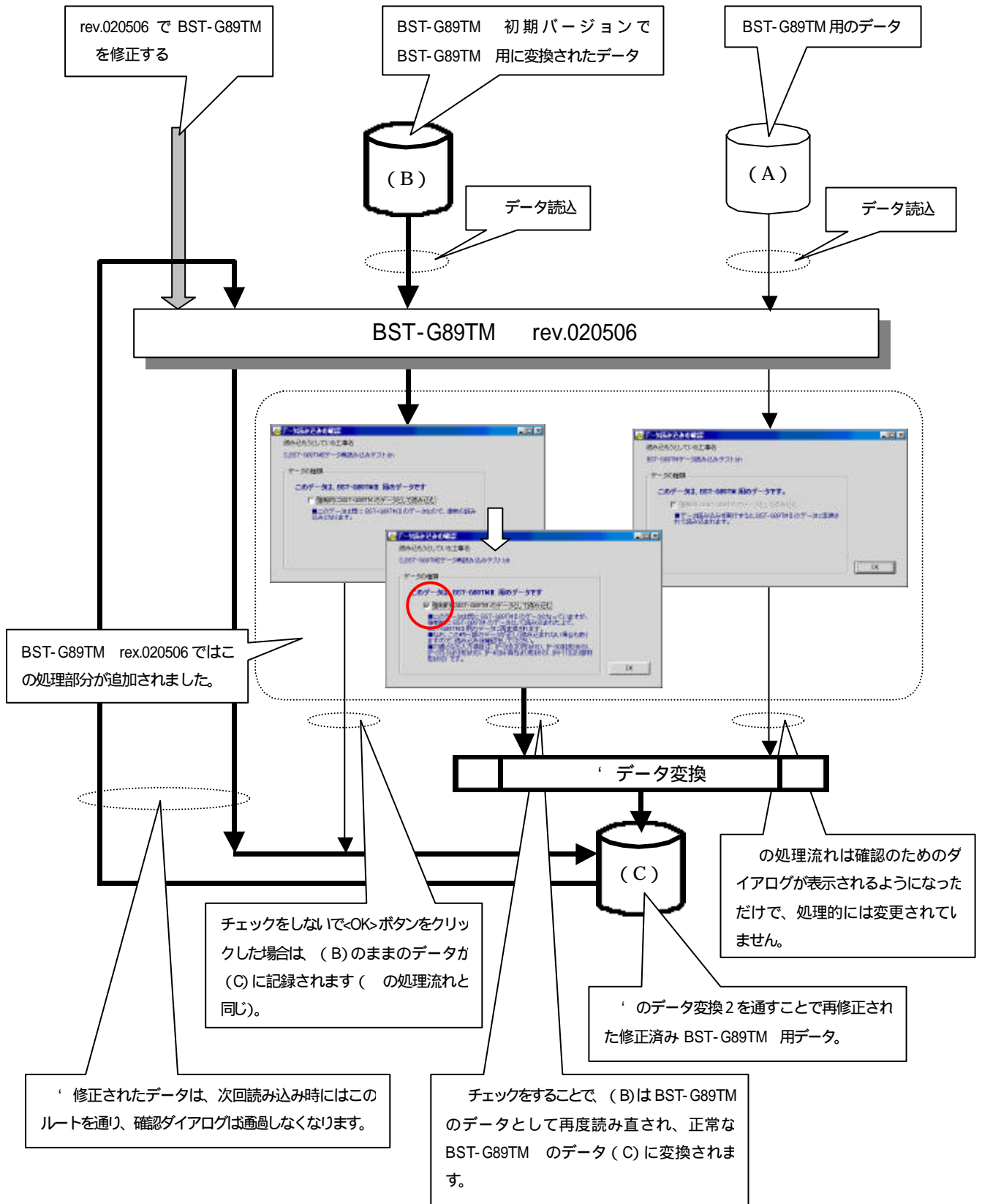
の選択をする画面が出ますので、どちらかを選択します。

通常は 2-2) を選択します。

rev.020506 で変換されたデータ (C) は、修正済みデータとして記録され、次回読み込んだときには、処理流れを指定するダイアログは表示されません (' の流れ)。

rev.020506 で変換されたデータ (C) はデータを保存するとき、工事名の頭に「 S2_ 」または「 T2_ 」が自動的に付けられ、BST-G89TM のデータや初期バージョンで変換されたデータ (B) と区別されるようになりました。

rev.020506 で追加された処理機能の内容を、以下にフローチャートで示します。



BST-G89TM (Ver 7.01) rev.020506 でデータ読み込み操作の実際

ここでの説明は、2 ページのフローチャート（以下、フローチャートとします）を参照しながら説明します。

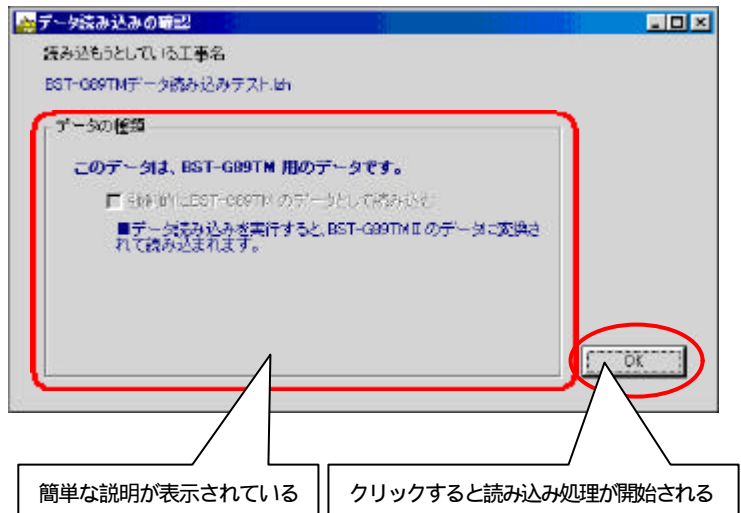
1) BST-G89TM のデータを読み込む場合（2 ページの 1）に該当）

この処理はフローチャートでは の流れに該当します。

BST-G89TM のデータを読み込む場合は、基本的には今までの処理と何ら変わりませんが、処理の開始前に右図のような確認ダイアログが表示される機能が追加されました。

簡単な説明が表示されています。

ここでは何もすることが無いので、<OK> ボタンをクリックすると処理が継続されます。



簡単な説明が表示されている

クリックすると読み込み処理が開始される

2) BST-G89TM の初期バージョンで変換されたデータを再度読み込む場合（その 1）

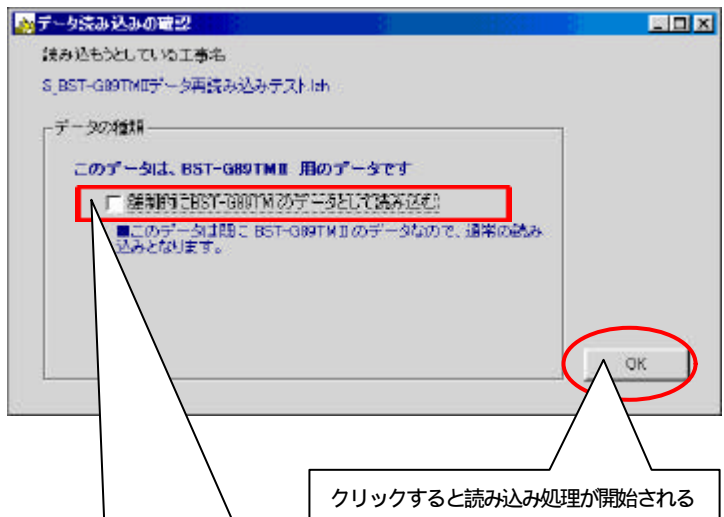
この処理はフローチャートでは の流れに該当します。

BST-G89TM の初期バージョンで変換されたデータを再度読み込む場合は、必ず右図のようなダイアログが表示されます。

画面の説明中に「強制的にBST-G89TMのデータとして読み込む」というチェック項目があります。

ここにチェックをしないで<OK>ボタンをクリックすると、BST-G89TM の初期バージョンで変換されたままのデータ形式で読み込まれ、何らの補正処理はされません。

また、そのデータがそのまま BST-G89TM 用の修正済みデータとして記録されるので注意が必要です。



クリックすると読み込み処理が開始される

ここにチェックをしないで<OK>ボタンをクリックすると、BST-G89TM の初期バージョンで変換されたままのデータ形式で読み込まれ、修正の処理はされません。また、そのデータがそのまま BST-G89TM 用の修正済みデータとして記録されるので注意が必要。

3) BST-G89TM の初期バージョンで変換されたデータを再度読み込む場合 (その2)

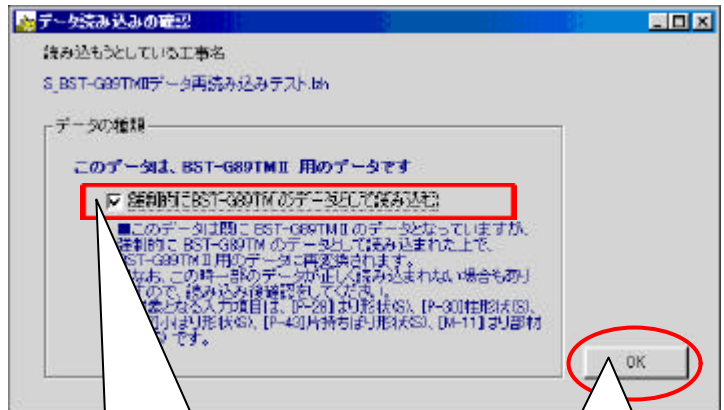
この処理はフローチャートでは の流れに該当します。

BST-G89TM の初期バージョンで変換されたデータを再度読み込む場合は、必ず右図のようなダイアログが表示されます。

画面の説明中に「強制的にBST-G89TMのデータとして読み込む」というチェック項目があります。

ここにチェックをし、<OK>ボタンをクリックすると、BST-G89TM の初期バージョンで変換されたデータが再度修正して読み込まれます。

通常はここにチェックを入れて読み込みます。



クリックすると読み込み処理が開始される

ここにチェックをし、<OK>ボタンをクリックすると、BST-G89TM の初期バージョンで変換されたデータが再度修正して読み込まれる。通常はここにチェックを入れる。

4) BST-G89TM rev.020506 で読み込んだデータの保存

BST-G89TM の rev.020506 で読み込んだデータを保存すると、BST-G89TM の初期バージョンで保存されたデータと区別するため、工事名の頭に「 S2_ 」または「 T2_ 」が自動的に付けられるようになりました。

例: S2_ 邸新築工事.LZH

(BST-G-89TM または BST-G-89TM の初期バージョンでは S_ 邸新築工事.LZH となっていた)

これにより、保存したデータを見ただけで、BST-G-89TM のデータか、BST-G-89TM の初期バージョンのデータか、BST-G-89TM のデータかが一目でわかるようになりました。